



鋳さい・耐火レンガリサイクルのご提案



アサヒコーポレーション株式会社

アサヒのリサイクル

アサヒコーポレーションは、今年で創業96年の倉庫会社で、石炭（国内産）の沿岸荷役と運送からスタートし、その後、石炭の斜陽化に伴い、荷捌き商品はホタル石やマンガン鉱石、さらには合金鉄（製鋼副原料）などに変化しました。

現在では、『船からの陸揚げ→トラックスケール(計量)→横持(トラック運送)→入庫→通関→保管(保税倉庫)→倉庫内での付帯作業(粉碎・篩分・袋詰)→配達(製鋼会社・他の需要家)』の全ての作業を各商社様から受注しております。

また、合金鉄クラッシング作業で培ったノウハウを基に、建築廃材として排出されるがれき類（コンクリートがら）や製鋼時に排出される鉱さい、炉に使用される耐火レンガ（ガラス陶磁器くず）のリサイクルを通じて、リサイクルに取り組みられているお客様のリサイクル率向上のお手伝いさせて頂いております。

■合金鉄（フェロアロイ）とは？

合金鉄は現代の日常生活に欠かせない大切な鉄鋼製品を作るためにとても重要な素材です。マンガン、クロム、シリコン、モリブデンなどの金属を溶かして鉄と結合させた合金で、鉄鋼メーカーなどの精錬過程で使用され、鉄に含まれる不純物の除去や鉄に特別な性質を与えたりします。特にステンレスやばね、ピアノ線などの特殊鋼には多種多様の合金鉄が添加されます。

3つの柱

◆コストダウン

弊社は産業廃棄物の中間処理会社であるため、排出企業様と直接お取引させて頂くことで、中間マージンが増えることがなくコストダウンを実現するとともに、高い透明性を確保しておりますので、お互いに安心した関係を築くことが可能です。

◆リスクヘッジ

アサヒコーポレーションでは、もしものトラブル（既存の中間処理会社様での受入が不可能になったり、値上げが起こったり等）に対して、排出企業様に既存の処分会社様以外での処理会社の確保を提案させて頂いており、企業活動を活発に行われている企業さまのバックアップを行うため、小ロットから（例 10t）でも受入させて頂きます。

◆CSR推進

アサヒコーポレーションは、お客様の社内での3R（リデュース・リユース・リサイクル）活動だけではなく、循環型社会へ貢献するお手伝いをさせて頂いております。また、弊社はISO14001を取得しており、お客様の産廃を中間処理する際も環境負荷低減を徹底しております。さらに、ISO9001も年内取得予定となっております。

リサイクル例（1）

大手電気炉メーカー様

<きっかけ>

当初、大阪府内の処理業者にて全量処分しておりましたが、会社として1社に全量を任せることが「もしも・・・」の時を考えると不安であるため、弊社を処理会社として参入許可を頂きました。

<アサヒで処理を始めて・・・>

既存の処理業者が臨時休業になることが多い時には、弊社に処理を任せて頂いたことで、社内の産業廃棄物保管場所の円滑な運用ができるようになりました。さらに、2社に処理を委託することによって、リスクの細分化が可能になり、社内的に産業廃棄物の処分で悩むことはなくなりました。

リサイクル例（2）

大手電気炉メーカー様

<きっかけ>

当初、フェニックス処分場にて全量埋立処分を行っていましたが、社内的にリサイクルに力を入れたことや、CSR面（社会的責任）を担う企業として埋立処分という処分方法に疑問を持ち、リサイクルに力を入れることになりました。

<アサヒからのご提案>

全量からではなく、少量からのリサイクルご提案をさせて頂きました。当社でのリサイクルが円滑に行われているかを確認された上で、ご納得頂ければ、処理量を徐々に増やしてはいかがですかとご提案。現在では全量を弊社にてリサイクルしております。



使用済みHMSの処理について

大阪府内水道管理立工事現場にて排出された使用済みHMS

<きっかけ>

弊社にてがれき類処分を委託している企業様より、「使用済みHMSの処分はできないか？」との打診を受け、サンプルを頂きました。

<処理の進め方>

通常の鉱さいの受入時の確認と同じく13号・46号、19号の各種分析を行い、受入判定基準をクリアしており、HMSとして受入可能な品質であることが確認できましたので、弊社にて受入・処理を行いました。

(HMSの使用用途によっては、マニフェストの運用が変わる場合がございます)



使用済みHMS<サンプル>

アサヒ北港資源化センター



スラグ



選別・破碎



再資源化



下層路盤材

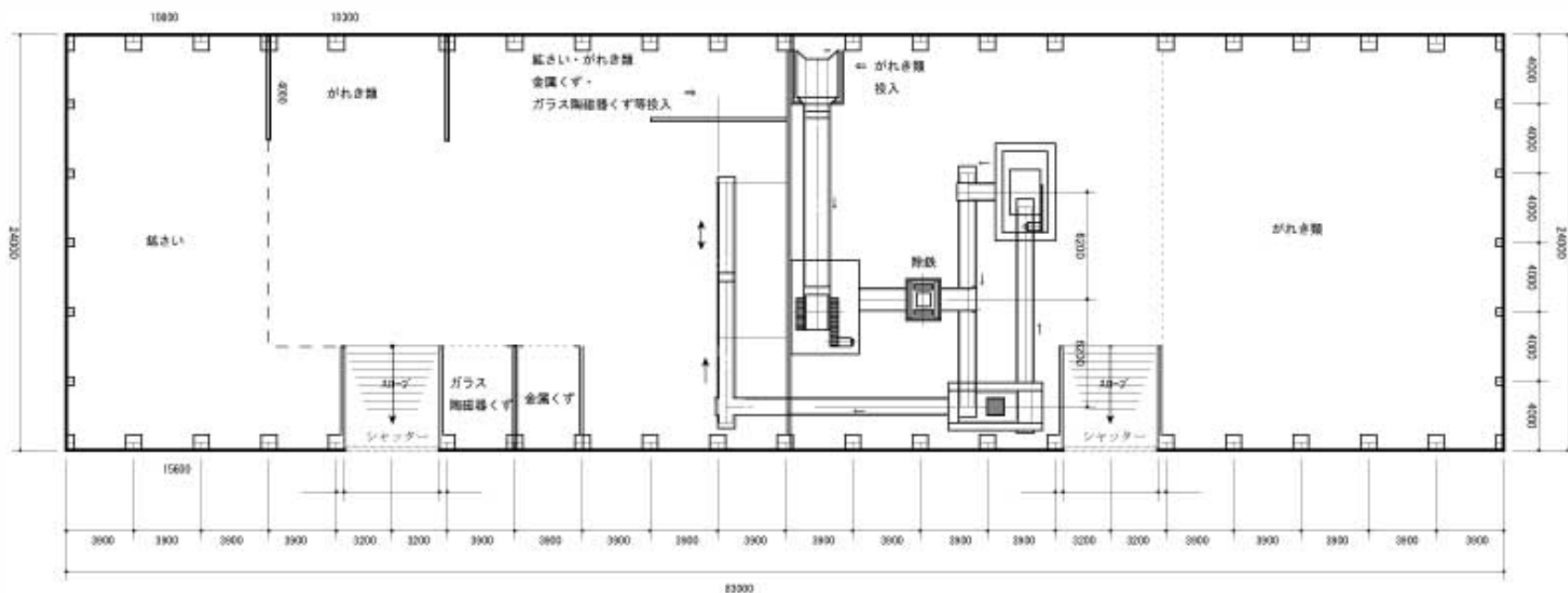
一部の鉄鋼スラグ類及び耐火レンガは、ほとんどが埋立処理をされるなどリサイクルしにくいものと思われていますが、弊社では中間処理（プラントにて選別・破碎などの適正処理）後、再生下層路盤材として再利用出来るようにしております。主にRC80(サイズ0mm～80mm) RC40(サイズ0mm～40mm)・RC30(サイズ0mm～30mm)・再生砂(サイズ0mm～10mm)として粒度調整し製品化しております。スラグ・耐火レンガくず等の適正処理を推進するために、監視カメラを設置し、積載物の量や形状などをチェックしています。弊社は関西圏の各製鋼メーカーに副原料となる合金鉄などを粉碎加工及び保管納入しており、スラグ・耐火レンガ・鋳物砂の産業廃棄物収集運搬も承っております。



アサヒプラント

保管面積	上屋・野積倉庫合計	5,550m ² (約1,681坪)
	上屋倉庫 . . .	2,000m ² (約606坪)
	野積倉庫 . . .	3,550m ² (約1,075坪)
処理能力	1,200 t / 日	
月間受入許容量	30,000 t / 月	
処理実績	がれき類 126,184.6t / 年 スラグ 6,887.41 t / 年 (2009年実績)	

北港資源化センター 構内図面



産業廃棄物中間処理・収集運搬業許可品目・種類 (平成22年9月現在)

許可品目/業の種類		中間処理	収集運搬			
		選別・破碎	大阪市	大阪府	尼崎市	堺市
産業 廃棄物	燃え殻					
	汚泥					
	廃油					
	廃酸					
	廃アルカリ					
	木くず		●	●	●	●
	紙くず		●	●		●
	廃プラスチック類		●	●	●	●
	繊維くず		●	●		●
	ゴムくず		●	●	●	●
	金属くず	●	●	●	●	●
	ガラスくず	●	●	●	●	●
	動植物性残さ					
	鉱さい	●	●	●	●	●
	がれき類	●	●	●	●	●
	ばいじん					

許認可免許・設備

通関業許可	大阪税関長許可 第94号
保税蔵置場許可	大阪税関長許可 調保指令第22号・23号・24号
倉庫業許可	国土交通大臣許可 港倉第24号 第1742号
自動車運送業許可	近畿運輸局長許可 大 第4147号
港湾荷役事業許可(沿岸荷役限定)	近畿運輸局長許可 近運港第267号
自動車運送取扱業許可	近畿運輸局長許可 大 第3296号 取扱業の種別 : 自動車運送取扱業、自動車運送代弁業、自動車運送利用業
公認計量業許可	大阪府知事許可 大 第620号
道具商(古物商)許可	大阪府公安委員会許可 第621051900859号
廃棄物再生事業者	大阪府知事許可 第432号
ISO14001	MSA-ES-845
4. 5吨GB付ジブクレーン	1基
デジタルトラックスケール(3.5m×15m)	60吨秤(大阪府公認)
鉬碓石クラッシャー機械プラント	4基
コンクリートガラクラッシャー機械プラント	1基
圧縮梱包機(50吨・25吨)	各1基
大型車両・ショベルローダ・フォークリフト	常備

搬入までのフロー



会社概要

社名	アサヒコーポレーション 株式会社
代表取締役	太田 裕史
所在地	■本社：大阪市港区弁天1-2-1 オーク1番街ベイタワーオフィス23階 TEL 06(6573)3631 FAX 06(6573)3635 ■北港支店：大阪市此花区梅町2-1-60 TEL 06(6468)1551 FAX 06(6468)2175 ■北港資源化センター：大阪市此花区梅町2-1-60 TEL 06(6468)5566 FAX 06(6468)2233
創業	大正 3年 5月
法人設立	昭和28年11月21日
資本金	3,000万円
事業内容	通関業・倉庫業(保税蔵置場)・陸運業・港湾荷役業・不要プラスチック売買業・ 公認計量業・クラッシング加工業・産業廃棄物収集運搬業・産業廃棄物中間処理業・ 資源リサイクル業(がれき類、鋳さい、木くず、ガラスくず、金属くず)
加盟団体	(財)日本関税協会 (社)日本通関業連合会 大阪通関業会 (社)大阪港振興協会 (社)大阪倉庫協会 (社)大阪府トラック協会 (社)大阪商工会議所 (社)全国産業廃棄物連合会

北港資源化センター案内図

